

町民と議員との 懇談会

まちの「いま」と「これから」を語る

町民の声から見えた課題と、 議会の対応は？

今年度の「町民と議員との懇談会」は、2月3日から6日間、全17会場で開催し、
77名の町民の皆さんにご参加いただきました。

今年の懇談会では「議員のなり手不足」と「議会改革」に重点を置き、町民の
皆さんの率直な意見を伺いましたが、その他にも地域の将来や暮らしに関わる様々
な声をいただきました。

■町民の意見から見えた3つの課題

今年の懇談会で重点を置いた「議員のなり手不足」と「議会改革」について、
様々な意見が寄せられました。そこから見えてきた3つの課題を紹介します。

1. 議員のなり手不足

若い世代や女性が議員にならない理由とは？

2. 議会改革

町民にとってもっと身近な議会へ

3. 報酬・定数

増やす？減らす？町民の本音



1. 議員のなり手不足

議員になりたくても

仕事との両立が難しい。



活動日数が多い。

今の仕組みでは、
若者や女性が参画しづらい。



家族の理解が必要。



同性の協力がないと、

女性ひとりでは難しい。



🔍 議会の考え

- ・議員の活動を見てもらうためにモニター制度を検討。
- ・柔軟な活動スタイルの導入も議論が必要。

➡議員活動の見える化や支援のあり方など、多様な人が関われる議会に向けた検討を進めていきます。

2. 議会改革

議会に
興味がないのでは？



議会は難しい

という印象があるのでは？



🔍 議会の考え

- ・町民と議会との距離を縮める方法が今後の検討課題。
- ・議会報告の方法も改善が必要。

➡情報発信や意見交換の場のあり方について、柔軟な対応を模索していきたいと考えています。



3. 報酬・定数

若い人たちが
入れる道を残す。



人口が減っているのに
議員定数は
そのままでもいいのか？

地域の声を聴いてもらっている。

人口減＝議員を
減らせとは
ならない。

報酬が低いから、
なり手がいないのでは？



🔍 議会の考え

- ・現在の定数を維持すべきか検討する必要がある。
- ・報酬についても議論が必要。

➡ 「少人数でも機能する議会のあり方」と「なり手を増やすための条件」のバランスを考える必要があります。

■まとめ

「町民と議員との懇談会」は、町民の声を直接聞き、議会のあり方を考える貴重な機会です。今年は「議員のなり手不足」と「議会改革」に焦点を当て、多くのご意見をいただきました。

議会では、いただいたご意見をもとに、より町民の皆さんにとって身近で開かれた議会を目指し、改革を進めていきます。

🗨️ あなたの声も聞かせてください

右記の二次元バーコードを読み込むと、議会宛ての意見・質問フォームに繋がります

こちらの二次元バーコードはご利用いただけません

📖 議会ガイド



📖 用語集

